



学校だより 令和4年 11月号

<http://www.ama-net.ed.jp/school/E22/>

尼崎市立浜田小学校 校長 仁科 良久

大丈夫 タイムマシンが なくっても あの日のことは 忘れないから

朝晩の寒さに、近づく冬の気配を感じます。

先日の体育大会では、保護者、地域の皆様にご覧いただく中で、児童は日ごろの体育学習の成果を、存分に発揮してくれました。徒歩での来校等のご不便をおかけいたしました。多大なるご協力に深く感謝申し上げます。

今月は音楽会を開催いたします。徒歩での来校に加え、室内開催のため座席数の制限等をお願いいたします。引き続きのご協力をお願いいたします。

さて、秋の深まりとともに、児童の学習活動も広がり、深まりを増しております。コロナ禍も少し勢いが弱まり、校外での活動も実施することができました。自然体験や、社会科見学等を通して、「見て、触れて、感じる」学習をすることができました。

また、学校の代表児童による「小学校連合体育大会」や、今月開催される「尼崎市小学校音楽会」への参加を通して、市内他校との交流学習も行われています。

このような学習や行事を通して、子どもたちは加速度的に学びを深めていきます。しかし、深まるのは学びだけではありません。

子どもたちは、様々な体験を友だちと一緒にすることにより、とても大切な「思い出」を心に焼き付けていきます。様々な体験を通してこそ、大人になっても忘れない一生モノの思い出を紡ぐことができるのです。

表題の短歌は、『ドラえもん短歌』という本の最後に載っていた、加藤千恵さんの作品です。

きっと加藤さんにも、心に残る素敵な思い出や体験があったことでしょう。

コロナ禍は、私たちの生活から、かけがえのないものをたくさん奪っていきました。しかし、これまで当たり前だと思っていた多くの宝物の存在を、思い出させてくれました。

子どもたちにとって2022年の秋は、一生に一度きりです。素敵な思い出を、友だちと一緒にたくさん作ってほしいと深く願います。最後に、お気に入り、もう一句。

目の前に どこでもドアが あったなら
それを理由に 会いに行きたい (MAmi 作)

音楽会が近づいてきました。朝の会では歌声や楽器の音が校舎に響いています。子どもたちの取り組み方にも、少しずつ変化が感じられるようになってきました。練習中にお互いの声をかけ、協力し合う姿が見られます。

音楽会に向けた練習を通して、友だちと音を合わせる心地よさを感じられるように、また、当日は学年みんなで心をつなげた演奏を披露できるよう、さらに練習を重ねていきます。

ご家庭でも、子どもたちへの温かい励ましをよろしくお願いいたします。

音楽専科 広瀬敬子

11月の行事予定

月	火	水	木	金	土
	1	2 委員会活動	3 文化の日	4	5
7 朝会 児童集会 定時退勤日	8	9	10	11 音楽会 (児童鑑賞)	12 音楽会 (保護者鑑賞)
14 代休日	15	16 児童生徒文化 発表会(4年)	17 代表委員会	18 自然体験 (5年)	19
21 放課後学習 定時退勤日 SC	22	23 勤労感謝の日	24 放課後学習	25 自然体験 (5年) (予備日)	26
読書週間 21日~27日					
28 放課後学習 定時退勤日 SC	29 環境体験 (3年)	30 クラブ活動			

SC…スクールカウンセラー来校

★スクールカウンセラー★

学校では、子ども達の心のケアに対応するため、スクールカウンセラーによる相談を受けることができます。相談をご希望の方は、学校へご連絡ください。